

現地検討会を実施しました

令和2年9月16日(水)、埼玉県比企郡ときがわ町都幾山国有林において、植栽した苗木がシカに食べられないよう植栽地にネット式の防護柵を設置しましたが、野ウサギによりネットが破られる等の被害が多数発生し防護柵としての機能が損なわれたため、今年度、金網の柵を新たに設置することとしたので、金網のメーカーの方の出席も頂き、獣害対策のひとつの試みとして、県・市町の職員及び林業事業者等へ情報提供を行いました。参加者は、県出先機関、市町職員、林業事業者等から16名の参加を頂きました。

検討会において出された主な意見等は次のとおり。

- ・県においても金網柵を検討しているところであり参考になった。
- ・柵のメンテナンスを考えれば、初期投資が高くても良いのではないか。
- ・コストが高いこと、資材重量が課題ではないか。
- ・針金入りの網の設置でも良かったのではないか。
- ・野兎の被害があったとのことであり、下から穴を掘って侵入される恐れはないのか。
- ・支柱の設置が大変そうだ。 etc

埼玉森林管理事務所では、今後も、林業の成長産業化に貢献するため、林業の低コスト化・省力化について情報発信してまいります。

